

数直線上を動く点 P がある。1 回の試行につきコイン 1 枚とサイコロ 1 個を同時に投げる。コインの表が出たら正の方向にサイコロの出た目の数だけ P を移動させ、コインの裏が出たら負の方向にサイコロの出た目の数だけ P を移動させる。

- (1) P が最初は 0 にあるとき、この試行を 2 回行った後、P が 2 にある確率を求めよ。
 (2) P が最初は 0 にあるとき、この試行を 3 回行った後、P が 0 にある確率を求めよ。

(24 青森公立大 2)

【答】

- (1) $\frac{1}{16}$
 (2) $\frac{5}{96}$

【解答】

- (1) k 回目の試行での P の移動量を x_k とおくと、 x_k は

$$x_k = -6, -5, \dots, -1, 1, 2, \dots, 6$$

の 12 通りがあり、どの確率も

$$\frac{1}{2} \cdot \frac{1}{6} = \frac{1}{12}$$

である。

P が最初 0 にあり、試行 2 回後、P が 2 にある確率は

$$x_1 + x_2 = 2 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

となる確率である。① を満たす組 (x_1, x_2) は

$$(x_1, x_2) = (-4, 6), (-3, 5), (-2, 4), (-1, 3), \\ (1, 1), (3, -1), (4, -2), (5, -3), (6, -4)$$

の 9 通りがある。

よって、求める確率は

$$9 \times \frac{1}{12} \cdot \frac{1}{12} = \frac{1}{16} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (2) P が最初 0 にあり、試行 3 回後、P が 0 にある確率は

$$x_1 + x_2 + x_3 = 0 \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

となる確率である。② を満たす組 (x_1, x_2, x_3) のうち $x_1 \leq x_2 \leq x_3$ を満たすものは

$$(x_1, x_2, x_3) = (-6, 1, 5), (-6, 2, 4), (-6, 3, 3), \\ (-5, -1, 6), (-5, 1, 4), (-5, 2, 3), \\ (-4, -2, 6), (-4, -1, 5), (-4, 1, 3), (-4, 2, 2), \\ (-3, -3, 6), (-3, -2, 5), (-3, -1, 4), (-3, 1, 2), \\ (-2, -2, 4), (-2, -1, 3), (-2, 1, 1), \\ (-1, -1, 2)$$

の 18 通りがある。これらの中で異なる 3 数の組が 12 通り、2 つが同じ数である組は 6 通りあるから、 x_1, x_2, x_3 の大小の制限をはずすと、組 (x_1, x_2, x_3) は

$$12 \times 3! + 6 \times 3 = 72 + 18 = 90 \text{ 通り}$$

ある。

よって、求める確率は

$$90 \times \frac{1}{12} \cdot \frac{1}{12} \cdot \frac{1}{12} = \frac{2 \cdot 3^2 \cdot 5}{4^3 \cdot 3^3} = \frac{5}{96} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。